

5 指導計画 全2時間(6Q)

別紙「单元カード」参照

6 本時の構想<第1日目> 1/2時間(45分授業)

(1) ねらい

思いやり・親切の道徳的価値に基づき、「相手に対して、どうすることが親切なのか」を主人公の行為を基に考え、よりよい行為を見いだすことができる。

(2) 展開

学習活動と子どもの姿 ☆考えるすべ	教師の働き掛け
<p>1 資料の問題場面から、主人公の気持ちに共感し、「思いやり・親切」についての道徳的価値に基づいた価値観を表出する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・電車の中だ。電車乗ったことあるよ。 ・電車に乗っている人に席を譲ってあげのお話じゃないかな。 ・迷うよね。 ・知らない人だとなかなか言えないよ。 ・目が不自由な人が、譲った方がいいって分かるんだけどな。 ・分かります。 ・少しなら分かります。 ・譲ってあげたいな。 ・声をかけようかな、どうしようかな。 ・静かだし、声は掛けずらいな。 ・次に止まったら声を掛けてみようかな。 ・電車の中が静かだったから。 ・知らない人だし、目が不自由な人だから。 ・よろけそうになっていて心配だから。 	<p>○説明「今日のお話は、『せきがあいているのに』というお話です」 ※電車内の人物の位置関係を共有させるために車内の絵を提示してから読み聞かせる。 ※レゴブロックを使い、資料Aの状況を再現しながら読み聞かせる。</p> <p>※読み聞かせた後に、場面の状況を確認する。</p> <p>※資料Aが書かれたプリントを配付する。</p> <p>○発問「主人公の気持ち、分かりますか」【働き掛け1】</p> <p>○発問「主人公はどんな気持ちなんだろう」「主人公にのりうつれますか」</p> <p>※のりうつ～るハートの付箋を配付し、「主人公」の気持ちで記述させる。</p> <p>○発問「どうして、そのような気持ちになったの」</p> <p>※のりうつ～る雲の付箋を配付し、「主人公」の気持ち分かる理由を記述させる。</p>
<p>2 「自分がその場にいたらどうするか」を考え、資料の場面と自分とをかかわらせる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ぼくなら、「どうぞ」って譲ります。理由は、目が不自由だし、きつと立っていても辛いと思うからです。 ・私は、声を掛けた方がよいと分かっていますが、なかなか言い出せません。「大丈夫かな」と心配ですが、見ているだけかもしれない。誰か、大人の人が声を掛けてくれるんじゃないかなとも思うからです。 ・ぼくなら、「よかったら座りませんか」と声を掛けます。見えないわけだから、席が空いていることも分からないのかも知れないからです。 ・私は、「席が空いていますよ。こっちです」って言って席まで一緒について行ってあげます。だって、見えない訳なので、困っていると思うからです。 	<p>○発問「自分がその場にいたらどうしますか」【働き掛け2】</p> <p>○指示「のりうつ～るシートに、自分の考えを書きましょう。そのように考えた理由も書きましょう」</p> <p>※「自分にできること」をのりうつ～るシートに記述させる。</p> <p>※のりうつ～るシートに記述したものを発表させる。このとき、「誰の視点に立っているのか」「どのような理由か」が明確になるように板書する。</p> <p>※様々な価値観から、様々な行為が表出する。これらを整理しながら板書する。</p> <p>※必要であれば、レゴブロックを操作しながら、説明させる。これにより、主人公とおじさんとの距離や行為の仕方を共有することができる。</p>
<p>3 主人公がしたことについて評価し、主人公の行為について話し合う</p> <ul style="list-style-type: none"> ・やっぱり、声をかけるよね。 ・えっ、断られたの？ ・どうして、遠慮するの？座らないの？ 	<p>○説明「みなさんは、自分ならこんな風にするんですね。主人公はね、こうしたのですよ」</p> <p>※レゴブロックを使い、場面の状況を再現しながら資料Bを読み聞かせる。</p> <p>※資料Bが書かれたプリントを配付する。</p>

・主人公がしたことは、二つあると思います。どちらのことですか。

・二つの行動は、違うことだと思えます。はじめはよいことだと思えけれど、二つ目の行動はどうなのかな？と思えます。

【よい】

・言えたことがすごいと思えます。知らない人に声をかけるのはなかなかできないからです。
・遠慮しているのかなって思ったから、もう一度声を掛けたのだと思えます。

【よいと悪いの間】

・手を取ろうとするのはやり過ぎじゃないかなと思えます。
・声をかけたのは、よいと思うんですけど、声の掛け方が、よくなかったんじゃないかな。「座りませんか？」っておじさんに聞いてみればよかったと思えます。
・見守った方がよかったと思えます。だって、おじさんは何を思っているか分からないからです。
・出入り口の近くに居るし、もしかしたら、目が不自由だからすぐに降りられるように近くに居るのかもしれないと思えます。

【悪い】

・ちょっとお節介のような気がします。一度断られたのに、手を取ろうとするのはやり過ぎのような気がするからです。

☆比較するすべ

4 おじさんの行為に対して問いをもつ。

・なんで、どうしてこのままでいいの？
・「本当に」だから、よっぽど座るのが嫌だったんだね。
・やっぱり、断るよね。

・違いました。
・何だか、残念です。座ってくれたら嬉しいのになと思えます。
・「ありがとう」って言って座ってくれたと思えました。喜んでもらえると思えました。

・どうしてだろう。
・何かあるのだと思えますが、よく分かりません。

○発問「主人公がしたことをどう思いますか」 【働き掛け3】

※主人公の行為についての気づきが出た場合には、行為の違いを取り上げ、二度目に声を掛けたことについて検討できるように整理する。

○指示「のりうつ～るシートに自分の考えと、その理由を書きましょう」

※主人公の行為を評価させ、その理由を記述させる。

○指示「主人公がしたことをどう思うか、ネームプレートを貼ってください」

※行為の評価をネームプレートで黒板に貼らせる。

※友達の意見を聞き、主人公の行為に対する評価が変化したという声があったらネームプレートを変更させる。その後、考えが変化した理由を問う。

○説明「主人公がしたことについて、いろいろな考え方が出ましたね。実は、このお話には続きがあります」

※資料Cを読み聞かせる。

○発問「おじさんの反応は、予想通りでしたか」

※予想した反応とは違ったというつぶやきを取り上げ、どのようなことを思ったのか発言を促す。

○発問「どうして、おじさんは喜んでくれなかったのでしょうか」

○説明「どうしてなのか、明日一緒に考えていきましょう」

(3) 評価

思いやり・親切の道徳的価値に基づいて、「相手に対して、どうすることが親切なのか」を主人公の行為を基に考え、よりよい行為を見いだすことができたかどうかを発言やワークシートの記述から評価する。